

令和6年度第3回長門警察署協議会会議録

開催日時	令和7年2月25日（火） 午後3時から午後5時までの間
開催場所	長門警察署 講堂
出席者	委員 木村委員、杉本委員、佐藤委員、上野委員、今浦委員 計 5人
	警察署 署長、次長、会計課長、刑事・生活安全課長、地域課長、 交通課長、警備課長 計 7人
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 所管業務の推進状況について 2 デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進
<p>1 会長挨拶 連日寒波が訪れ寒い日が続いている。 今年度最後の長門警察署協議会が実りのあるものにしたいたいと考えているので、委員の皆様は活発な意見、提言をお願いします。</p> <p>2 署長挨拶（省略）</p> <p>3 所管業務説明（署長） <ol style="list-style-type: none"> (1) 犯罪抑止総合対策の推進 (2) 人身安全関連事案の対応状況 (3) 地域安全活動の推進 (4) 交通死亡事故抑止総合対策の推進 (5) 警備諸対策の推進状況 </p> <p>4 監察関係事案説明（署長） 令和6年11月から令和7年2月における警察職員の懲戒処分事案について説明した。</p> <p>5 協議・検討（委員） 警察官が寒い日も暑い日も地域を巡回しているおかげで、巡回連絡の件数が多く計上されている。私は過去に防犯に関わる活動をしていたこともあり、市民からすればありがたいと感じている。</p>	

(委員)

交通事故件数が減少していることは大変すばらしく、署員の皆様の活動と広報により一般ドライバーが交通安全に気を付けるようになってきていると感じた。レスポンスタイムについても前回より短縮されており、パトカーがサイレンを鳴らし走行している様子を見ると、何か事件や事故があったのかと心配に思うが、パトカーを待っている側からすれば、一秒でも早く現場に警察官が来てくれると安心感を得ると思う。

(委員)

刑法犯の認知件数で自転車盗と万引きが増えているが、長門市内で外国人技能実習生の姿を見かけることが多くあり、また、ミャンマーが詐欺の巣窟といったニュースを目にしたことがあるので、外国人犯罪について聞かせてもらいたい。

私は独居老人の家を数多く訪問するなどの活動を行っているが、長門市内の中でも私の住んでいる俵山地区は高齢化が進んでいるので、特に必要な活動であると感じている。

(刑事・生活安全課長)

件数が増加している万引きや自転車盗の被疑者が外国人であったという事案は当署管内ではなかったが、ベトナム国籍の技能実習生が違法薬物を輸入、購入したということで逮捕をしており、現在捜査を進めている。

当署管内でも外国人の人数は増えてきているので、それに比例して外国人犯罪も増えている状況である。

ミャンマーの件については複数人を監禁して特殊詐欺での電話の架け役をさせていると報道されていた。以前から捜査の手が及びにくいということで、海外から国際電話を使って詐欺電話を架ける手口が多く見られたが、現在は外国と協力して捜査を進めることができるようになっている。

(地域課長)

うそ電話詐欺の被害を防ぐためには、警察官が対面で指導を行っていくことが大事と考えている。また、特殊詐欺の手口は日々新しくなっており、現在多発している詐欺の手口を広報しながら訪問活動を行っている。

(署長)

外国人の万引きであれば、ドラッグストアを対象に複数人の外国人が車で訪れ高額な薬や化粧品などを窃取する事件が全国的に発生している。そのあたりも視野に入れながらパトロールを行うよう指導をしていきたい。

(委員)

外国人犯罪の話が出たが、現在長門市内にはどこの国の方が生活しているのだろうか。

(警備課長)

管内居住の外国人については主に技能実習生の方が多く、国籍でいえばベトナム、インドネシア、中国の方が水産加工や鉄工関係の会社で働いているほか、最近ではミャンマーの方が介護関係の施設で就労している。少数ではあるが、技能実習生以外でその他の国籍の方が管内で生活をしている。

(委員)

交通事故関係で長門警察署管内の人身事故発生件数が約半分になったと説明があったが、これは皆様方の日頃の地道な活動が実を結んだ結果だと思っている。また、昨年県内で受理した110番通報が約8万7,000件と説明を受けた。この中で緊急ではない通報が少なからずあると思うが、そのような緊急ではない通報はどのくらいの件数があるのか。

(地域課長)

詳しい数値については分からないが、ある程度は緊急ではない110番通報がある。事例でいえば、免許更新手続きの質問やスマートフォンの誤操作などが含まれる。

(委員)

最後の協議会で昨年全体の取組について説明を受けたが、その中で様々な訓練を実施していることを知った。災害や事件が起きた際には、普段から訓練を行っているかどうかで動きが変わってくるが、長門警察署は万が一に備えており頼もしいと感じた。

また、交通事故については減少傾向にあり、個人的に思うことは管内の量販店の駐車場が整備され、利用者の安全を考えた施設づくりが進んでいると感じた。今後、長門市内はさらにドライバーの高齢化が進み、道路での交通事故だけではなく、駐車場内での事故が増えてくるのではないかと懸念している。駐車場を整備し運転や駐車しやすい環境を作ることで、駐車場内での交通事故も減らしていけるのではないだろうか。

(委員)

知人がパソコンを使用しているときに、警告画面の表示と警告音が鳴り、マイクロソフト社を名乗る会社に電話をなささいというメッセージが出たので、電話を架けてしまったということがあった。知人は特殊詐欺でこのような手口があることは知っていたが、警告画面と警告音に驚き、我を失って電話を架けてしまったようだ。幸いにも私が電話中に訪問し、電話を切らせたので、何の被害にも遭わなかったが、特殊詐欺の手口について知識のない方や高齢者の方などはもっと簡単に騙されてしまうと思う。

警察の方で広報は十分行っていると思うが、さらなる広報をお願いしたい。

(署長)

この種の相談は当署でも多く受けており、中には騙されて被害に遭う方もいるため、長門警察署ではこれまで以上に特殊詐欺被害防止の広報を推進していく方針である。皆様方も周囲の人が不審な電話やパソコンに警告画面が出たなどの状態に陥った場合は、遠慮なく警察署に相談するように周知していただきたい。

6 諮問事項

「デジタル化の効果が実感できる運転免許行政の推進」について

7 協議・検討

(委員)

オンライン講習が始まったと聞いたが、警察署に来なくても手続きができるのか。

(交通課長)

講習区分が優良又は一般の方に限り、オンライン講習により自宅で受講することはできるが、更新の手続きや免許の受け取りで警察署などに行く必要がある。講習を自宅で受講することによって、警察署などでの手続きの時間短縮になるので、参考にさせていただきたい。

(委員)

警察官から運転免許証の提示を求められた場合はマイナ免許証を提示することとなるが、マイナ免許証には免許情報が記載されていないので、読み取り装置などで免許情報を読み取るようになるのか。

(交通課長)

そのとおりである。

警察官が携帯している機械で免許情報を読み取ることができる。

(委員)

マイナ免許証にした場合でもカード自体は持ち歩く必要があるのか。また、携帯電話でデータを表示させるなどのデジタル化は考えていないのか。

(交通課長)

免許の携帯義務があるので、カード自体を携帯する必要がある。

携帯電話で免許データの表示をさせるなどのデジタル化は、現時点では行われていない。

(委員)

長門市内は高齢化が進んでおり、高齢者がスマホなどを利用しオンライン講習を受けるのはなかなか難しいのではないかと。

(交通課長)

従来どおり対面式の講習も行っているため、講習区分が優良又は一般の方は、オンライン講習か対面式か受けたい講習を選択できるようになっており、その他の区分の方は対面式の講習となる。

(委員)

最初はマイナ免許証への移行などで手続きが複雑になると思うが、マイナ免許証が当たり前になれば、手続き時間の短縮や人為的ミスの減少等様々なメリットがあると思う。

マイナ保険証も使ってみると便利なため、マイナ免許証も早く定着してほしいと思っている。

(交通課長)

今後、免許証の所持形態は、マイナンバーカードと運転免許証が一体化したマイナ免許証のみを所持する方法と、今までと同様に、運転免許証のみを所持する方法、そして、一体化したマイナ免許証と運転免許証の両方を所持する方法の3

つのパターンから申請者自身が自由に選択することとなる。マイナ免許のみの場合は更新手数料が安くなるといったメリットもあるので、更新時の参考にしていただきたい。

8 その他の協議事項

(委員)

前回の協議会で熊の出没について説明を受けたが、冬季の今でも熊の目撃はあるのか。

(地域課長)

秋頃と比べ、件数は激減しているが月1件程度の目撃情報は当署に寄せられている。

(委員)

山間部での鹿の出没も多いと思うが、鹿と接触した交通事故はどのくらい発生しているのか。

(交通課長)

令和6年中は当署管内で70件の鹿との接触事故を認知している。前年は66件であったのでほぼ横ばいの状態である。

9 配付資料

令和6年度第3回長門警察署協議会資料（警察署作成）

10 次回警察署協議会の開催日程

次回の長門警察署協議会については、令和7年6月末頃の開催予定とした。